

# ■ 都市計画マスタープランについて

令和4年3月

## 1. 都市計画マスタープランとは

都市計画マスタープランとは、**おおむね20年後の都市のあるべき姿や都市づくりの方針**を示すものであり、都市計画法第18条の2に規定する「市町村の都市計画に関する基本的な方針」に基づく計画です。

都市計画マスタープランが示す基本方針に沿って、**土地利用などの具体的な都市計画**が決まっています。

都市計画マスタープランでは、**将来目指すべき姿を図面や文章で示す**ほか、以下のような事項について定めます。

- \* 土地利用のあり方
- \* 市街地整備のあり方
- \* 道路や交通のあり方
- \* 水辺環境や公園・緑地のあり方
- \* 景観を生かしたまちづくりのあり方
- \* 防災や防犯のまちづくりのあり方
- \* 地域の個性・魅力を生かしたまちづくりのあり方
- など



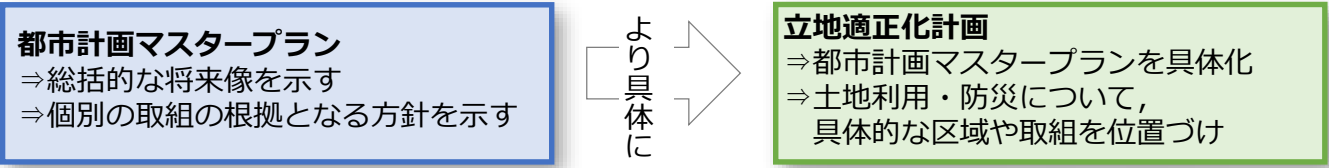
### 策定に当たっての基本的な考え方（第11版都市計画運用指針より抜粋）

市町村マスタープランは、住民に最も近い立場にある市町村が、その創意工夫の下に住民の意見を反映し、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき市街地像を示すとともに、地域別の整備課題に応じた整備方針、地域の都市生活、経済活動等を支える諸施設の計画等をきめ細かくかつ総合的に定め、市町村自らが定める都市計画の方針として定められることが望ましい。

# ■ 立地適正化計画について

## 2. 立地適正化計画（防災指針）とは

立地適正化計画とは、全国的に人口減少・少子高齢化が進む中、持続可能な都市を実現するために、平成26年に都市再生特別措置法の改正に伴い制度化された新たな計画です。居住機能や医療・福祉・公共交通などの様々な都市機能の集積により、持続可能な都市を目指す計画であり、都市計画マスタープランの一部（高度化版）として扱われます。



本計画では、安心して地域に住み続けるために、生活サービスやコミュニティ、身近な緑などが持続的に確保されるような**居住機能を集積する区域**や、駅周辺などの身近な地域の拠点において、医療・教育・文化・商業・業務などの**都市機能を集積する区域**などを検討します。

また、激甚・頻発化する自然災害への対応として、災害ハザードを踏まえた防災まちづくりの観点からも、計画策定の必要性が高まっています。安全に住み続けられるように、居住地の災害リスクを明確にしつつ、特性に応じた災害対策の取組などを**防災指針**として示すことを検討しています。

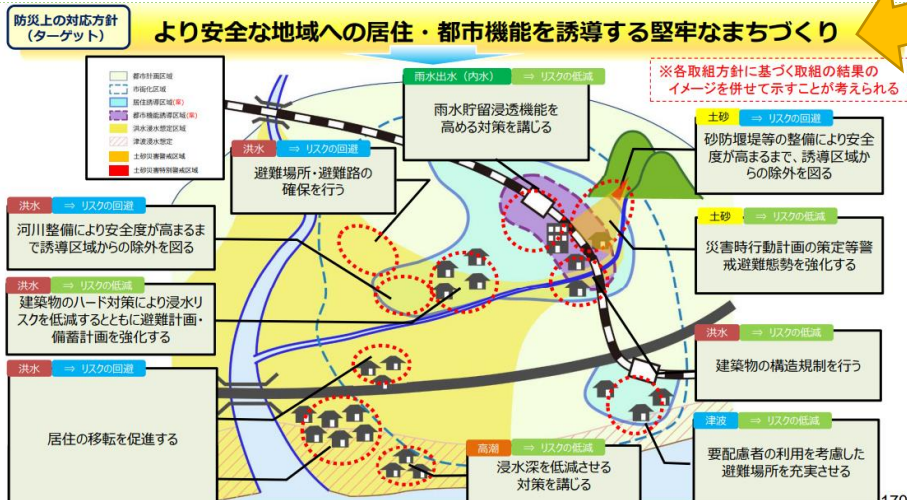


### 防災指針とは・・・

居住や都市機能の集積を図るうえで必要となる防災対策等を定め、防災まちづくりの将来像と取組方針を明らかにするものです。

**防災指針の内容**

- 災害ハザード情報の収集・整理    ● 災害リスクの高い地域の抽出、定量的評価
- 防災上の課題整理    ● 防災まちづくりの将来像、取組方針の検討
- 具体的な取組、スケジュールの検討    ● 目標値の検討



## ■ 現行の調布市都市計画マスタープランについて

### 3. 現行の調布市都市計画マスタープラン

- 調布市では、平成10年度に、令和2年度を目標年次とする現行の都市計画マスタープランを策定しました。
- 現行の都市計画マスタープランでは、以下の5つのまちづくりの理念と将来都市像を掲げ、まちづくりを推進してきました。
- 平成26年9月の改定時にも、この理念や基本的な考え方を継承しています。(目標年次を令和4年に変更)

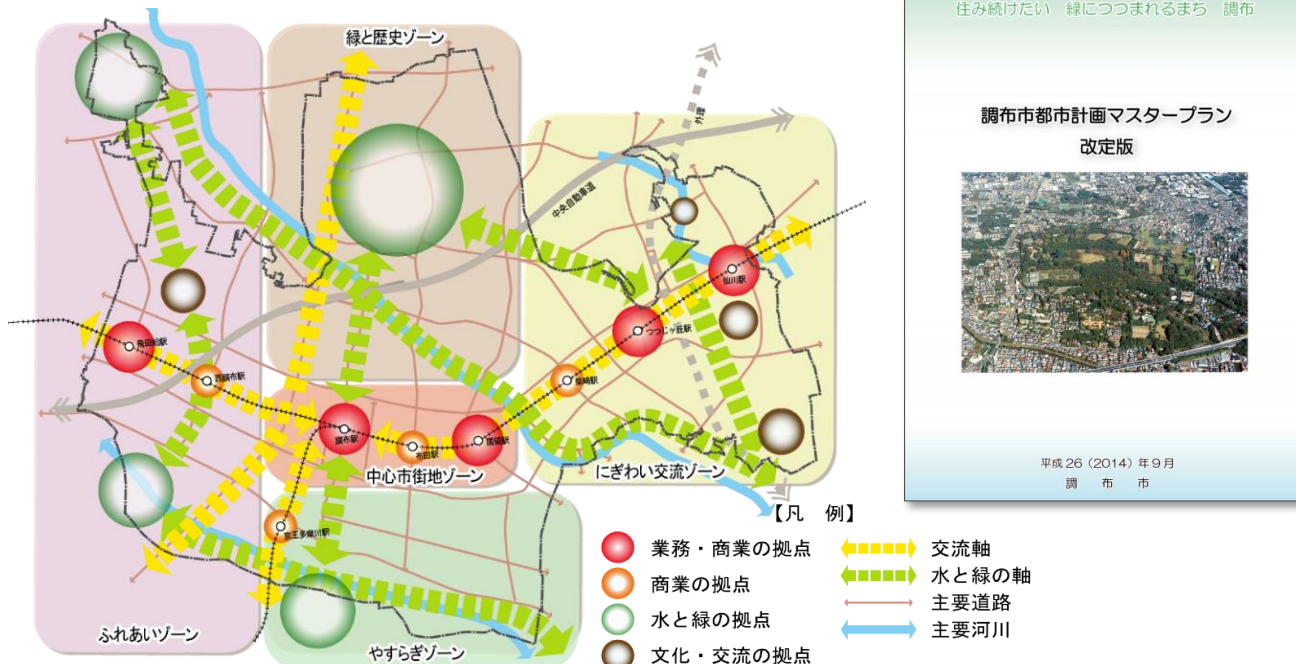
#### まちづくりの理念

- ① 「“ほっとする”まちをつくる」
- ② 「自然との共生を意識してまちをつくる」
- ③ 「循環型のまちをつくる」
- ④ 「人がつなぐ、つながりあうまちをつくる」
- ⑤ 「住み続けられるまちをつくる」

#### 将来都市像

住み続けたい 緑につつまれるまち 調布

- まちづくりの理念や将来像を実現するため、都市の骨格を形成する拠点や軸を、以下の将来都市構造図に示しています。



## ■ 次期都市計画マスタープラン・今後の進め方について

### 4. 次期計画策定の背景・趣旨

- 調布市では、以下の主な背景から、次期都市計画マスタープラン策定に向けた検討を行います。

#### 👉 計画の見直し時期の到来

現行計画の策定から22年を経過し目標年次の令和4年度を迎えます

#### 👉 変化する社会情勢への対応

- ✓ 少子高齢・人口減少社会への対応
- ✓ 頻発・激甚化する自然災害への対応
- ✓ コロナ禍における新しい都市づくりへの対応
- ✓ カーボンニュートラル社会への移行
- ✓ デジタル化への対応 など

現行計画の理念、将来像、目標、方針等が、社会環境の変化に対応できているかを検証し、**令和4年度末に次期都市計画マスタープランを策定する予定**です。

### 5. 今後の進め方

- 次期都市計画マスタープラン策定では、**市民の皆様の声を十分に反映した計画づくり**を目指します。
- 今後、アンケートやワークショップ、パネル展示（オープンハウス）など、市民の皆様のお聞きする機会を設けて、地域の課題を把握したうえで、市全体や地域ごとのまちづくりの方針を定めていきます。



あなたが思い描く、**‘未来の調布のまちのキーワード’**をお聞かせください！

- 未来（約20年後）の調布市の姿を思い描き、あなたが大切だと思うまちづくりのキーワードをお寄せください。
- 現行計画では、その将来都市像や理念において、「緑」や「ほっとする」などの言葉が登場します。また、「交通」「環境」「福祉」「防災」「住環境」「景観」「地域活性化」の分野で、まちづくりの基本方針を定めています。
- 以下のQRコード又はURLより入力用のページへお進みいただき、自由にご記入ください。（令和4年4月28日まで）（無記名）
- いただいたご意見は、今後の検討の参考にいたします。

URL : <https://forms.gle/Y1JaAUThHjF56jPH6>

